

安全データシート

改訂日: 2022年1月14日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	塩化カリウム
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	AD0532
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	急性毒性:区分5(JIS区分外) 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分2B
絵表示又はシンボル	なし
危険喚起語	警告
危険有害性情報	飲込むと有害のおそれ 眼への刺激
注意書き	【安全対策】 気分が悪い時は医師に連絡すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 【応急処置】 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	塩化カリウム
別名	—
化学式	KCl
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:7447-40-7
濃度又は濃度範囲(含有率)	99%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-228
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く。皮膚を流水/シャワーで洗う。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。
予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸入:咳、咽頭痛 経口摂取:下痢、吐き気、嘔吐、脱力感、痙攣
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	不燃性である。周辺火災に適した消火薬剤を使用する。
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
火災時の特定危険有害性	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特定の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	こぼれた物質をプラスチック容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。
二次災害の防止策	該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

接触回避

保管

安全な保管条件
安全な容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼に入れないこと

酸化剤、酸との接触を避ける。

換気のよい涼しい場所に直射日光を避けて保管する。密封保管。

ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度

日本産衛学会

ACGIH

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

未設定

未設定

未設定

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

適切な眼の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

臭い

融点/凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

燃焼性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

蒸発速度

無色～白色の結晶性粉末

該当情報なし。

773～776℃

1413℃

不燃性

不燃性

不燃性

該当情報なし。

該当情報なし。

5.5～8.0 (25℃, 50g/L)

水溶液は中性

該当情報なし。

25.6g/100g(20℃ 水)

アルコールに難溶、塩酸に不溶、アルカリに溶ける。

該当情報なし。

該当情報なし。

1.98g/cm³ (20℃)

該当情報なし。

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

安定性、化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

通常の取り扱いに於て安定。

該当情報なし。

直射日光、高温、多湿

強酸化剤、強酸

該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性・刺激性

眼に対する重篤な損傷・刺激性

呼吸器感受性又は皮膚感受性

経口:

LD50-ラット 2600mg/kg、3020mg/kgのデータがあり、いずれもUN区分5 (JIS区分外)。

該当情報なし。(分類できない)

ウサギのドレイズ試験において、500 mg/24H Mildのデータがあり、区分2Bとした。(区分2B)

該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		国際化学物質安全性カード(ICSC) 16615の化学商品(化学工業日報社) GHSの挑戦(化学工業日報社) GESTIS Substance Database
		記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。